

<p>たくましく 心豊かな 地球市民</p> 	<p>瞳かがやく 附属松本中の子ら</p> <h1>すずかけの森</h1>	<p>令和5年4月7日（金） 信州大学教育学部 附属松本中学校 学校だより</p> 
--	---------------------------------------	---

春の温かい日差しに包まれ、中学校の門をくぐった159名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を心待ちにしておりました。新入生のみなさんは「附中の宝」です。希望に満ちた今の気持ちを原点として、これからともに素晴らしい学校生活を築いていきましょう。

そして、2年生・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。2年生は「附中の柱」、3年生は「附中の顔」としての生活が始まりました。この節目に、一人一人が新たな決意をもって臨んでいることと思います。一人一人が頑張ることはもちろんですが、ときには友と相談し、協力しながら、一緒に困難を乗り越え、成長し続けていく、そんな一年になることを願っています。一年間よろしくお願いいたします。

保護者の皆様、お子様のご入学・進級、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。今年度も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

校長先生 入学式でのお話から

「問いの連続の中を進み、社会を変えられるという実感へつなげよう」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ附属松本中学校へ。皆さんの入学を在校生、教職員一同、心待ちにしておりました。

さて、皆さんは将来の夢をもっていますか。先月参加した「未来人材育成の取組」という研修会の中で、世界に見劣りする若者の意欲という資料を見て愕然としました。日本財団が行った十八歳の意識調査で「将来の夢をもっている」という質問に Yes と回答した若者は60%。ほかの国々はすべて90%以上です。アメリカは94%、中国は96%。「自分は責任がある社会の一員だと思う」「自分で国や社会を変えられると思う」「自分の国に解決したい社会課題がある」という質問に対しても、日本の十八歳の Yes の回答は他の国よりも極端に低くなっています。特に「自分で国や社会を変えられると思う」若者は18%しかいません。皆さんはこの結果をどう思いますか。

本校は、教科等の本質に迫っていく学習、直面する課題に対して、教科・領域を超えて探究的に学び、自らの学びを深めていく教科横断的な学習、自らの内に問いを立て、からだ全体で探究する学級総合、響き合う心地よさを味わう全校音楽集会等を大事にしています。小さな疑問から生まれる「問い」に、回り道をしながらも、他者と協働して、自分の答えを探していきます。そして、そこで立ち止まらずに、新たな問いと向き合い、問いの連続の中を進んでいきます。その経験の積み重ねが、将来の夢につながり、微力ではあるけれども、この社会を変えられるという実感につながっていくのだと思います。今日から始まる附中での生活、あなた方が持っているよさを思う存分伸ばしてもらいたい。思う存分楽しんでもらいたい。そう願っています。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。私たち教職員は、この子たちの可能性の萌芽をとらえ、新しい時代を生きる力を育てまいります。互いに力を合わせ、この子たちのために、同じ地平に立ち、共に歩いていきましょう。今後も附属松本中学校へのなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞とさせていただきます。

副校長先生 始業式でのお話から

「何ができるのか どうやったらできるのか」

校舎南側の梅園では、梅の花の多くが散り、新緑の若葉がどんどんと姿を見せ始めました。桜も場所によっては満開を過ぎ、心地よい春風に桜吹雪が舞っているようです。今朝は、ウグイスのさえずりも聞かれました。今年も、だいぶ駆け足で春がやってきているようですね。例年の附属松本中学校とは少しちがう春の風景が、皆さんの新学期をお祝いしています。そんな今日4月6日、新しい仲間や先生方と、あるいはこれまで一緒に過ごしてきた友達や先生方と、また新たな気持ちで令和5年度の前期が始まりました。登校してくるときの、皆さんのほつらつとした顔が印象的でした。

今年度のスタートにあたり、私は次のような言葉が頭に浮かんでいます。今年度は、ぜひ学校生活の中で「自分や自分たちに、何ができるのか考えたい」「自分や自分たちがどうやったらできるのか考えたい」です。皆さんも様々なところで情報を得ていると思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響による学校を取り巻く状況は現在大きな節目を迎えています。お互いの健康には十分配慮しながらも、いろいろな事が実現できるようになってきています。しかし、一方で現在の私たちを取り巻く状況について十分に想いをめぐらし「何ができるのか。どうやったらできるのか」を考え、そして実行していかなければいけないことも、また事実です。このように想いをめぐらし、考え、実行していくことは、実は附属松本中学校での日々の学びの中で皆さんが得意として行っていることではないでしょうか。各学級がそれぞれのテーマで取り組んでいる学級総合は、まさにこのような自分たちが今置かれている状況のなかで「何ができるのか。どうやったらできるのか」の連続ですよ。前うまくいったから、以前はこうだったから全く同じようにすればいい。隣のクラスはこうやったから全く同じようにすればいい、ではなかなか前に進まないことを皆さんは良く知っていると思います。そして、そのことは各教科での学習にもつながっていますよね。この問題を解決していくのに、自分が置かれたこの状況で「何ができるのか。どうやったらできるのか」と常に前向きに取り組んでいる皆さんです。今年度もそんな頼もしい皆さんの姿を楽しみにしています。

そして、もう一つここで確かめておきたいことが、本校の学校教育目標である「たくましく 心豊かな 地球市民」です。私は、昨年度から本校で学ぶすべての皆さんが、本校を旅立っていく時に「地球市民」としてのエネルギーが体中に満ちているようになることを願っています、と伝えてきました。それは、皆さんが自分の夢や希望を実現していくための大きな支えになるでしょうし、困難に直面した時に、簡単には負けないたくましさになっていくはずだと信じています。3年生はいよいよ残り1年、2年生は後2年、1年生はこれからの3年間で、自分を支えるエネルギーをどのように自らに溜めていくか、じっくり、しかし、確かに考えていってください。お願いします。

最後になりましたが、本年度も様々な面で困難な状況はゼロにはなりません。これからも、よりよい方法、よりよい道を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。なお、学校生活におけるマスクの着用については、生徒の皆さんそして私たち職員も、着用を求めないことを基本とします。ただし、一人一人が様々な事情をもっていると思いますので、それぞれの実情に合わせて、また場面に応じて判断していきたいと思っています。宜しくお願いします。また、本年度の入学式も、コロナ禍のために、全校生徒及び本校を応援していただいている方々が参加して行うことはできませんでしたが、この始業式の場で新2、3年生の皆さんと一緒に、心から新入生の皆さんを迎えたいと思います。ご入学おめでとうございます。